

平成28年度認定日本遺産

総括評価・継続審査結果

020 自然と信仰が息づく『生まれかわりの旅』
～樹齢300年を超える杉並木につつまれた2,446段の石段から始まる出羽三山～

020

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	■ 「観光客入込み数」、「外国人観光客数」及び「構成文化財の来訪者数」について目標を達成していないが、やむを得ない理由（令和6年梅雨前線による災害）が認められる。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	不可	■ 「地域のガイド利用料収入」は、令和6年度の災害よりも前の年から減少傾向であり、目標を達成していない。
(4) その他	可	■ 「日本遺産の構成文化財が活用可能な状態にある割合」について目標を達成している。
総合評価	可	■ 全体として概ね目標を達成している。

総括評価

II. 取組内容に関する評価

		重点事項 評価結果	評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	可	■ 日本遺産のPR協力事業者数を増加させており、市内の他日本遺産認定地域と連携したふるさと納税を活用した取組が行われるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(2) 戦略立案	個別評価		可	■ 日本遺産の認知度が一定程度あるほか、DMOや県外大学と連携したデータ調査とそれに基づく戦略立案が行われているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(3) 人材育成	個別評価		不可	■ ガイド養成のための研修会等の取組や事業推進コーディネーターの配置等が実施されている一方で、日本遺産事業全体を統括するプロデューサーの役割を担う人材の配置が望まれる。
(4) 整備	個別評価	可	不可	■ 災害復旧や案内看板の整備などの受入環境整備が行われている一方で、整備に関する適切な指標の設定が望まれる。
(5) 観光事業化	個別評価	可	可	■ 体験型コンテンツの造成や日本遺産の他認定地域と連携した周遊促進事業が図られているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(6) 普及啓発	個別評価		可	■ 学校での授業・課外活動や親子を対象とした伝統文化体験などの普及啓発を通じて、日本遺産の認知度が一定程度得られているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(7) 情報編集・発信	個別評価		可	■ ホームページ、SNSやYouTubeなどの多様なチャネルを活用した情報発信を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
総合評価			可	■ 全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。

2

日本遺産を通じた地域活性化計画

	評価内容
① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること	■ これまでの取組の成果や課題を踏まえた事業計画が記載されており、構成文化財の保存と活用の双方の取組がバランスよく計画されている点が評価できる。 ■ 交流人口の増大、担い手の確保・育成、稼ぐ力での地域活性化という柱のもと、観光振興のための体験型コンテンツや、インバウンド誘客の拡大などをはじめ、多岐に及ぶ取り組みが計画されている点が評価できる。 ■ 「好循環の創出に向けた取組」については、具体的な数値目標を設定して取り組むことが期待される。
② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること	■ DMO等の民間事業者を巻き込んだ自立・自走に向けた体制の構築が見受けられる他、大学などの教育機関やガイド団体なども積極的に巻き込んでいる点が評価できる。 ■ 児童生徒への普及活動等、中長期的な人材育成に関して取組が幅広く計画されている点が評価できる。 ■ 出羽三山精神文化ツーリズムの国内外への展開等、国内の足元事業だけではなく海外を含めた事業推進の方向性が示されている点が評価できる。
総合評価	■ 3年間の事業を踏まえ、「出羽三山の雄大な自然と日本を代表する精神文化を未来へつなぐ」というビジョンのもと、今後の目指す方向性・事業が整理されている点が評価できる。 ■ 組織整備から情報編集・発信まで、全体として優れた取組みが幅広く展開されていると評価できる。

評価結果	重点支援地域に認定 (特別重点支援地域への認定審査を別途年内に実施)
------	---------------------------------------

3

総括評価

Ⅰ. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	■ 「観光客入込み数」、「日本遺産のストーリーを体験した来訪者数」及び「日本遺産のストーリーを伝えるための環境整備の進捗度」について、概ね目標を達成している。 ■ 「外国人観光客数」、「経済効果」及び「宿泊者数」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」及び「小中学生における認知度」について、概ね目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産関連の体験ツアー数」、「日本遺産関連のふるさと納税寄付額」、「公開活用できている日本遺産構成文化財の割合」、「『文化財保存活用地域計画』等の策定数」、「文化財の保存・活用に関わる団体数」及び「新規に養成した観光ガイドの登録者数」等について、概ね目標を達成している。
(4) その他	—	—
総合評価	可	■ 全体として概ね目標を達成している。

4

総括評価

Ⅱ. 取組内容に関する評価

		重点事項 評価結果	評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	可	■ 全ての構成地域における民間組織の参画の他、ふるさと納税等による日本遺産整備に資する資金の獲得、四市担当者の実務レベルでの協議・連携など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(2) 戦略立案	個別評価		可	■ 全ての構成地域における行政計画や構想への日本遺産の位置づけの他、事業計画や改善を行う会議体も一定程度実施するなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(3) 人材育成	個別評価		可	■ 全ての構成地域における地域ガイドの育成・交流事業や地域の文化財保存活用団体の育成・支援など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(4) 整備	個別評価	可	可	■ 日本遺産ガイドセンター等の拠点整備や四市共通ストーリーブック・ガイドブックの作成・配布、ストーリーや構成文化財等の解説案内板の整備など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	可	■ 構成四市の周遊促進事業の企画・実施や効果検証の他、日本遺産と連携した商品開発など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(6) 普及啓発	個別評価		可	■ 教育委員会や学校現場と連携した出前講座の実施や教育旅行の誘致、子どもたちの理解度調査など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(7) 情報編集・発信	個別評価		可	■ HPや各種SNSなどを活用した情報発信や日本遺産に関する情報発信イベントの参加・開催など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
総合評価			可	■ 全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。

5

	評価内容
① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること	■ 広域のシリアル型の日本遺産として、これまでの事業実績・課題を踏まえながら、地域資源の特色を活かしたビジョンと事業計画が立てられている点が評価できる ■ 重点項目が明確に示され、多角的な事業内容を検討されている点が評価できる。
② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること	■ 関係自治体の緊密な連携に加え、教育機関との連携や民間事業者・住民の巻き込みなど、好循環の創出に向けての素地が整っている点が評価できる。 ■ 構成四市が主体となりながら、民間団体との連携が十分とられており、行政主導から民間主導へ移行していく方向性や、好循環の創出に向けて多角的に考えられている点も評価できる。 ■ 地域プロデューサーや観光ガイド人材の参画・育成も十分に練られている点が評価できる。
総合評価	■ 広域のシリアル型日本遺産として、各市が距離を超えて連携し、日本遺産・鎮守府を守り伝える努力を重ねている点が評価できる。 ■ ビジョン実現に向けて、多様な取組みと関係者の参画が計画されており、構成四市が精力的かつ工夫をしながら日本遺産・鎮守府の発信に取り組む姿勢が評価できる。 ■ 構成四市の担当者・サポーター市民の相互訪問・交流などのソフト事業の充実が計画されている点が評価できる。
評価結果	重点支援地域に認定

036 “日本最大の海賊”の本拠地：芸予諸島 ―よみがえる村上海賊“Murakami KAIZOKU”の記憶―

036

総括評価

Ⅰ. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	■ 「観光客入込数」、「外国人観光客数」及び「村上海賊ミュージアム・因島水軍城での村上海賊関連グッズの売り上げ」について、目標を達成している。 ■ 「村上海賊ミュージアム、因島水軍城の来訪者数」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「村上海賊のロゴマーク使用にかかる寄付金額」について、目標を達成している。 ■ 日本遺産のためのふるさと納税額について、目標を達成していない。
(4) その他	—	—
総合評価	可	■ 全体として概ね目標を達成している。

総括評価

II. 取組内容に関する評価

		重点事項 評価結果	評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	可	■ パートナー登録者数やふるさと納税等の寄付金を一定程度確保できており、地域間連携や民間団体との連携体制を構築できているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(2) 戦略立案	個別評価		可	■ ブランド力やブランド認知度、地域内コンセプトの浸透度において一定実績を挙げており、各市における行政計画に日本遺産の位置づけがなされるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(3) 人材育成	個別評価		可	■ 地域プレーヤーが一定数おり、日本遺産ストーリーを説明する観光ガイド等の人材育成が進められているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(4) 整備	個別評価	可	可	■ ストーリーを理解するための解説板等の整備、ビジターセンターや村上海賊ミュージアムなどの日本遺産を紹介する施設整備が進められているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	可	■ 民間事業者を巻き込みツアー造成や商品開発を実施しているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(6) 普及啓発	個別評価		可	■ 出前講座の受講者数や日本遺産の理解度が一定程度あり、出前講座や地域小学生向けのストーリーを体感できるツアーの開催、民間事業者と連携した普及啓発の実施を進めるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(7) 情報編集・発信	個別評価		可	■ ホームページやSNS等の多様なチャネルを活用した情報発信を実施しており、ホームページのページビュー数やSNSのフォロワー数が一定確保できているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
総合評価			可	■ 全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。

8

日本遺産を通じた地域活性化計画

	評価内容
① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること	■ 地域の特性を活かしたビジョンの策定や、ビジョン達成のための事業内容が具体的に計画されている点が評価できる。 ■ これまでの成果と課題が適切に分析できているなど、分析結果をもとにしたマーケティングや観光振興などの取組が計画されている点が評価できる。 ■ 地場産業との連携やグループツアー・修学旅行など、細部にわたって事業内容が具体的に計画されている点が評価できる。
② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること	■ 「ガンツウ」「瑞風」「et SETOra」等を活用した高付加価値化コンテンツの造成や、海賊の食文化を活かした商品開発など、新たな魅力的な取組が網羅的に計画されている点が評価できる。 ■ DMOや観光協会との積極的な連携や地域プロデューサーの確保など、将来像を達成するための組織体制が整備できている点が評価できる。 ■ 財源負担の在り方を含めた持続可能な官民連携が計画されている点が評価できる。
総合評価	■ 魅力的なアクティビティを実現するための体制が構築されており、日本遺産を体感するための取組が具体的に計画されている点が評価できる。 ■ KaizokuをNinjaやSamuraiに並ぶ海外での知名度ある言葉に育てようとする姿勢が見られ、日本遺産を活かした地域づくりが計画されている点が評価できる。

評価結果	重点支援地域に認定
------	-----------

9

総括評価

Ⅰ. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	■ 「観光客入込み数」、「外国人観光客数」及び「宿泊者数」について、目標を達成している。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」及び「小中学生における認知度」について、目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産への協力団体数」、「日本遺産のためのふるさと納税額」及び「日本遺産構成文化財が活用可能な状態の維持」について、目標を達成している。
(4) その他	不可	■ 「伝統工芸体験プログラムの参加者・関連商品の購入者数」について、目標を達成していない。
総合評価	可	■ 全体として概ね目標を達成している。

10

総括評価

Ⅱ. 取組内容に関する評価

		重点事項 評価結果	評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	可	■ ふるさと納税額が一定程度あるほか、法人パートナーの組織化や地域プレイヤーの探索・育成やクラウドファンディングの実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(2) 戦略立案	個別評価		可	■ 地域コンセプトの浸透度が一定程度あるほか、民間を交えた事業計画の策定や、構成4自治体において行政計画への位置づけを行っているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(3) 人材育成	個別評価		可	■ 地域プレイヤーとしての日本遺産認定ガイド養成やそれら認定ガイドによる日本遺産ストーリーを紹介した活動頻度について一定程度取組が見られるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(4) 整備	個別評価	可	可	■ 観光客の満足度及び宿泊者数の目標値を達成しており、構成文化財の整備や構成文化財を周遊するための動線・交通インフラの整備が進められているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	可	■ 構成文化財への来訪者数について目標を達成しているほか、構成文化財を巡るサイクリングアクティビティやインバウンド向け旅行商品といった幅広い事業が展開されているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(6) 普及啓発	個別評価		可	■ 教育旅行の誘致や民間主導のシンポジウムやワークショップの開催、認定地域内外での出前講座の開催といった幅広い普及啓発が行われているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(7) 情報編集・発信	個別評価		可	■ ホームページ、SNSやメールマガジンなどの多様なチャネルを活用した情報発信を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
総合評価			可	■ 全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。

11

日本遺産を通じた地域活性化計画

	評価内容
① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること	■ ビジョンは具体的な内容であるとともに、ビジョンと取組内容の関係性が分かりやすく記載されている点が評価できる。取組について一般的な観光振興・文化財保護に留まっており、ビジョンの達成に向けた取組内容の具体性・積極性を高めることが望まれる。 ■ 構成文化財の魅力・個性を活かした観光振興策を展開するとともに、面的な周遊ネットワークの整備だけでなく、多言語化整備等の訪日外国人旅行者の増加に向けた取組や目標値を適切に設定することが望まれる。
② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること	■ 民間事業者が協議会に参画し、行政と連携した企画を実施する等、官民挙げての実施体制となっており、自立自走に向けた多様な財源確保が計画されている点が評価できる。 ■ 民間事業者との連携がさらに深化するよう配慮するとともに、財源確保の計画についても公費だけでなく別の手段の具体化が望まれる。 ■ 組織体制における民間事業者等の関係団体の役割分担を深化させるとともに、ワーキンググループ・グループリーダー・地域プロデューサー等の位置づけを明確に定義することが望まれる。 ■ 自立・自走に向けた大きな要素となりうる訪日外国人旅行者の目標が低く、これまでの実績値を踏まえて目標値の水準を適切に設定することが望まれる。
総合評価	■ 全体として、ビジョンについて日本遺産の目指す先を十分理解して構築されている点が評価できる。 ■ ビジョンを実現するための取組の順序・流れを整理する他、日本遺産事業としてストーリーをより意識して取組を具体化し、マーケットインの視点を持って実践することが望まれる。 ■ 古代の所産である多賀城と江戸時代の伊達文化の関連付けへの工夫や広報戦略の強化が望まれる。
評価結果	認定継続

12

022 未来を拓いた「一本の水路」－大久保利通“最期の夢”と開拓者の軌跡 郡山・猪苗代－

022

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	■ 「観光客入込人数」、「外国人観光客数」、「コンベンション」及び「宿泊者数」について、目標を達成している。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」及び「認知度」について、目標を達成している。 ■ 「ガイド案内件数」について、概ね目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「一本の水路ブランド認証団体数」、「協議会の受託販売額」及び「日本遺産関連で開発された商品・サービス数」について、目標を達成している。
(4) その他	可	■ 「協議会委員や関係団体の参加型イベント数」について、目標を達成している。
総合評価	可	■ 全体として概ね目標を達成している。

13

総括評価

II. 取組内容に関する評価

		重点事項 評価結果	評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	可	■ 個人サポーター・法人サポーターの数は一定程度あり、DMOや民間事業者等と連携するなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(2) 戦略立案	個別評価		可	■ ブランド力、ブランド認知度が目標を達成しているほか、行政計画における日本遺産の記載や、モニター調査結果を現状把握と企画立案に活用するなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(3) 人材育成	個別評価		不可	■ 地域プレイヤーを一定数確保しているものの、日本遺産事業全体の活動を統括・コーディネートする地域プロデューサーの取組内容の明確化が望まれる。
(4) 整備	個別評価	可	可	■ 全ての構成文化財における案内・解説板を整備したほか、ガイダンス施設の増設や構成文化財の修理を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	不可	■ 民間主導のイベント開催を支援するなど民間事業者との連携が進められているものの、観光事業化に関する取組の更なる強化が望まれる。
(6) 普及啓発	個別評価		可	■ 教育機関と連携したノベルティグッズ制作、出前講座の実施や事業者ロゴ利用促進事業を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(7) 情報編集・発信	個別評価		可	■ ホームページ、SNSや日本遺産アプリなどの多様なチャネルを活用した情報発信を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
総合評価			可	■ 全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。

14

日本遺産を通じた地域活性化計画

	評価内容
① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること	■ 地域のありたい姿としてのビジョンが語られておらず、「稼げる日本遺産」等のコンセプトを実現するための方策についても不明瞭であるため、これまでの成果や課題を踏まえ、それぞれ具体化することが望まれる。 ■ 観光部局が事務局となっている点は評価できるが、観光だけでなく、構成文化財の適切な保存・活用・整備に関する取組についてもしっかりと取り組むことが望まれる。 ■ 「稼げる日本遺産」を実現するにあたって必要な取組を具体化するとともに、好循環の創出に向けた取組内容を評価するための経済指標を設定することが望まれる。 ■ 事業を実施するうえで必要となる構成文化財の整備計画や周遊ルートの確立等、着実かつ具体的な事業計画を立てるのが望ましい。
② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること	■ 産学官連携のWGの新設やプロデューサーへの権限移譲を計画しているほか、教育機関も含めた意欲的な団体などを網羅した推進体制を構築している点が評価できる。 ■ 郡山市のみを対象とする文章が見受けられることから、シリアル型の日本遺産として、特定の地域に偏重せず構成地域全体での事業展開を行うことが望まれる。 ■ 協議会による自主的な取組の更なる充実を図るとともに、組織の自立自走については具体的な目標金額を設定して取り組むことが望まれる。
総合評価	■ 日本遺産事業として必要な取組が一定程度記載されており、取組の推進にあたっての体制が一定程度整備されている点について評価できる。 ■ 観光コンテンツの造成と域内のシビックプライド醸成だけではなく、現地に来た旅行者に理解を深めてもらうための取組を強化することが望ましい。 ■ DMOや民間事業者等への将来的な事業継承を目指しているが、実現性を担保するための具体的なアクションプランを示すことが求められる。

評価結果	認定継続
------	------

15

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	■ 「観光客入込み数」、「外国人観光客数」、「構成四市施設への入込数」及び「校外学習・教育旅行で北総四都市の構成文化財を訪れた学校数」について、目標を達成している。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	■ 「地域において日本遺産のストーリーが誇りに思われること」について、目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産への協力団体数」、「民間事業者との連携事業数」、「担当会議の開催実績」及び「行政計画・構想への位置づけ件数」について、目標を達成している。
(4) その他	—	—
総合評価	可	■ 全体として目標を達成している。

16

総括評価

II. 取組内容に関する評価

		重点事項 評価結果	評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	可	■ 組織内に一定数の民間事業者の参画が見られるとともに、ふるさと納税の実績が大幅に増加しており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(2) 戦略立案	個別評価		不可	■ 行政計画への日本遺産事業の位置づけが行われているものの、戦略立案に関する適切な評価指標の設定が望まれる。
(3) 人材育成	個別評価		可	■ 地域プロデューサーや地域プレーヤーが一定数確保されており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(4) 整備	個別評価	可	可	■ サブストーリーの発掘やツアー造成等、ストーリーを伝える仕組みが整っており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	不可	■ 民間事業者と連携したツアーの造成販売等の取組を行っているものの、観光事業化に関する適切な評価指標の設定が望まれる。
(6) 普及啓発	個別評価		可	■ 教育旅行の誘致活動により校外学習に訪れる学校数が増加しているほか、県内小中学校向け学習マンガの配布など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(7) 情報編集・発信	個別評価		可	■ Webサイト、SNS、イベントでの広報など、情報発信に関する幅広い取組が実行されており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
総合評価			可	■ 全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。

17

	評価内容
① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること	■ ビジョンが明確であり、地域の特性を十分に踏まえた具体的なものになっている点が評価できる。 ■ ターゲット設定について、江戸の何を訴求するのかという「価値」の明確化に加え、海外を意識した計画についても検討が望まれる。 ■ 来訪者が日本遺産ストーリーを理解するための解説案内やガイダンス施設の整備に関する取組の強化が望まれる。 ■ 観光事業化の取組が一般的なものにとどまっており、日本遺産を活用した取組内容の更なる工夫が望まれる。
② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること	■ 学校、JR、空港など、協議会以外にも組織的に意識されており、官民挙げて将来像を共有するための担当者会議や人材育成の取組が行われている点が評価できる。 ■ 「組織の自立・自走」の姿が描けておらず、ふるさと納税や補助金等のみに頼らない自己収入の確立に向けた計画の立案が望まれる。 ■ 地域プロデューサーが4都市の活動を包括的にリードできるかが不明であり、実効性を担保するための取組が求められる。
総合評価	■ 地域特性と課題、取り巻く社会環境等を踏まえたわかりやすいビジョンとなっており、立地など地域の特徴を踏まえた計画整備が出来ている点が評価できる。 ■ 行政主体の活動が中心であり、柔軟な事業企画や民間主導の事業を活かせる体制整備が望まれる。 ■ 行政の役割として、シリアル型の長所を探りつつ、4都市をつなげて江戸を体感してもらうための取組の更なる充実が望まれる。 ■ 首都近郊に位置するシリアル認定地域であればこそ、個性をより強く打ち出したストーリー展開に基づくビジョン・事業の策定が望まれる。
評価結果	認定継続

024 江戸庶民の信仰と行楽の地～巨大な木太刀を担いで「大山詣り」～

024

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	■ 「観光客入込数」、「外国人観光客数」及び「体験コンテンツの体験者数」について、目標を達成している。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	不可	■ 提出された指標からは、日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立に係る取組状況を評価できない。
(4) その他	—	—
総合評価	可	■ 全体として概ね目標を達成している。

総括評価

II. 取組内容に関する評価

		重点事項 評価結果	評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	不可	■ 協議会への民間組織の参画や、販売収入からの日本遺産整備への1%還元等の取組を実施しているものの、収益性を高める取組等、協議会の組織整備に向けた取組のより一層の推進が望まれる。
(2) 戦略立案	個別評価		不可	■ 構成自治体の行政計画における日本遺産の位置づけが行われているものの、戦略立案に関する適切な評価指標の設定が望まれる。
(3) 人材育成	個別評価		可	■ 大山地域通訳案内士やいせはら歴史解説アドバイザーの育成が行われているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(4) 整備	個別評価	可	不可	■ 構成文化財の受入環境整備や特別公開等、整備に係る取組が行われているが、ガイダンス施設の整備や、整備に関する適切な評価指標の設定が望まれる。
(5) 観光事業化	個別評価	可	可	■ 体験型旅行商品の造成等を通じて、観光客入込数および周遊エリアの拡大について一定程度取組が行われるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(6) 普及啓発	個別評価		不可	■ 宿泊体験型教育旅行の提供や大山能狂言に関する親子教室などを実施しているものの、市民の日本遺産の認知度が低い水準であり、普及啓発のさらなる強化が望まれる。
(7) 情報編集・発信	個別評価		可	■ 公式ウェブサイトやSNSによる情報発信が行われているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
総合評価			可	■ 全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。

20

日本遺産を通じた地域活性化計画

	評価内容
① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること	■ 現状や課題に基づいて、「信仰と行楽」というコンセプトに沿って大山詣り体験や観光コンテンツ等の多彩な取組や、通訳案内士の活用、歴史観光案内人等の人材確保等、これまでの取組の継続・充実が計画されている点が評価できる。 ■ 多彩な取組を行っている中で、体験コンテンツの体験者数やインバウンド来訪者数は決して多くはない他、地域での認知度向上、先導師、こま技術者等の後継者不足への対策が求められるなど、これらの課題を解決するためもう一歩踏み込んだ具体的な方策作りが望まれる。 ■ 首都圏に近いという地の利を生かし、日本遺産事業を通じた好循環の創出に向けたより具体的な戦略立案や数値目標の設定が望まれる。
② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること	■ 産官学連携した協議会構成および地域一体で推進するための体制が整備なされている点が評価できる。 ■ ストーリー展開をより掘り下げた政策立案・事業創出の対応が望まれる。 ■ 組織の自立・自走に向け、具体的な目標金額の設定が望まれる。 ■ うまいもの遺産について、日本遺産の趣旨から乖離することがないように注意が必要である。
総合評価	■ 民間企業を含む多様な人材を活用しながら、自走化に向けた多角的な取組が整理されている点が評価できる。 ■ ビジョンの実現に向けた取組の計画として、もう一歩踏み込んだ取組を検討・推進することが望まれる。

評価結果	認定継続
------	------

21

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	■ 「観光客入込み数」について、目標を達成している。 ■ 「外国人観光客数」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、実績値の測定ができていない。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産関連で開発された商品・サービス数」について、概ね目標を達成している。
(4) その他	可	■ 「ガイド人数」について、目標を達成している。
総合評価	可	■ 全体として概ね目標を達成している。

22

総括評価

II. 取組内容に関する評価

		重点事項 評価結果	評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	不可	■ 協議会の会員数やふるさと納税額が一定程度あり、地域DMOとも連携しているものの、協議会本体の組織整備に向けた取組の実施が望まれる。
(2) 戦略立案	個別評価		可	■ 学術調査の実施やこまつ新交流ビジョン2024等の各種行政計画への日本遺産事業の位置づけを行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(3) 人材育成	個別評価		可	■ 地域プレイヤー数が一定程度あるほか、地域プロデューサーの確保、教育機関・企業等と連携した人材育成を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(4) 整備	個別評価	可	可	■ 構成文化財の整備事業、説明看板、展示スペースや交流拠点等の整備を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	可	■ 観光入込客数やガイド利用人数が一定程度あるほか、教育旅行コンテンツの造成や産業観光「GEMBAプロジェクト」の推進を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(6) 普及啓発	個別評価		可	■ 生徒への副読本配布や体験学習、伝統産業九谷焼に触れる機会の創出、生涯学習環境の整備を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(7) 情報編集・発信	個別評価		可	■ ウェブサイトやSNS等の多様なチャネルを活用した情報発信や、アーティストインレジデンスの実施を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
総合評価			可	■ 全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。

23

	評価内容
① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること	■ 多様な方向から地域を磨いていこうとする計画となっている点が評価できる。 ■ 石の文化を中軸とした地域活性化について、小松駅周辺での拠点整備と回遊性向上のための取組が着実に進められている点が評価できる。 ■ ガイダンス機能の充実や自走化などの取組が見受けられ、新たに開設した観光交流センター「Komatsu 九」等の拠点整備を中心に様々な取組が行われている点が評価できる。 ■ 中心市街地と農山村エリアの2地区を拠点として、ビジョンに基づく具体的な魅力的な取組が示されている点が評価できる。
② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること	■ 日本遺産事業の推進主体を地域DMOが担っており、地域資源の掘り起こしができる組織となっている点が評価できる。 ■ 各種民間団体が主導する協議会運営や民間ノウハウを活かした長期的な人材育成等の事業が着実に展開されているほか、自立自走に向けて、地域や産業団体などの稼ぐ仕組みが具体的に整理されている点が評価できる。 ■ 事業全体の司令塔の担い手やプロデューサーの位置づけなど、各関係者の役割を明確にすることが望まれる。 ■ 個々の事業は明確であるものの、日本遺産ストーリーに沿って組み立てていく戦略や手法の更なる明確化が望まれる。
総合評価	■ 日本遺産を活かした地域づくりという観点とそれに連動した取組が行われており、地域の実情に応じた適切な規模で計画が立案できている点が評価できる。 ■ ストーリーに記載されている、九谷焼だけでなく他の鉱物資源等の活用の検討が望まれる。 ■ 計画の実現に向けて、組織の自立・自走が要件となるところ、好循環の創造や組織の自立・自走についての数値目標を設定したうえで、取組を実施することが望まれる。 ■ 今後6年間に於いて、どこまで事業展開するかをより具体的にすることが望まれる。
評価結果	認定継続

029 飛騨匠の技・ころろ 一木とともに、今に引き継ぐ1300年—

029

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	■ 「観光客入込数」及び「外国人観光客数」について、目標を達成している。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について目標を達成していない。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	不可	■ 「協議会の自立化における協議会事業費の民間事業費割合」について目標を達成していない。
(4) その他	—	—
総合評価	不可	■ 全体として目標を達成しているとは言えない。

総括評価

II. 取組内容に関する評価

		重点事項 評価結果	評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	不可	■ 民間事業者・団体等を含めた協議会体制は一定程度整備されているものの、組織整備に資する取組の更なる強化が望まれる。
(2) 戦略立案	個別評価		不可	■ 高山市第八次総合計画等の各種行政計画において日本遺産の位置づけがされているものの、戦略立案に関する適切な指標設定の検討が望まれる。
(3) 人材育成	個別評価		可	■ 地域限定通訳案内士を含む現地の案内体制が整備されているほか、各種ガイドの育成・確保や技術の承継等に向けた取組を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(4) 整備	個別評価	可	可	■ 案内板の設置と多言語化、構成文化財の修理・修繕を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	可	■ 飛騨高山まちの博物館、体験交流館における入館者数が一定程度あるほか、体験メニュー等の造成や観光収入の獲得に向けた取組を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(6) 普及啓発	個別評価		可	■ 民間主導のイベントなど普及啓発に係る取組を行っているほか、小学生向けパンフレットの作成や中学校での郷土学習といった教育分野での取組を進めるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(7) 情報編集・発信	個別評価		可	■ 新聞記事やFacebookのフォロワー数など一定の実績があるほか、SNS運営や広報誌の発行、駅での情報発信、拠点整備など情報発信に係る様々な取組を行っており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
総合評価			可	■ 全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。

26

日本遺産を通じた地域活性化計画

	評価内容
① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること	■ ビジョン実現に向けて幅広い取組を展開している点が評価できる。 ■ ビジョンに至る背景や考え方について記載されておらず、現状や課題を踏まえて具体化することが求められる。 ■ 来訪者がストーリーを理解できるような環境整備等、飛騨高山ブランドの地域内外への浸透に向けた取組の具体化が求められる。
② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること	■ DMO、商工会議所や観光関連事業者など多様なステークホルダーの参画がみられるものの、羅列的であり、それぞれの役割分担の明確化が望まれる。 ■ 日本遺産全体の戦略立案・事業執行の責任を担う人材の確保が望まれる。 ■ 自立・自走に向けた取組が不十分であり、持続可能性を高めるための具体的な仕組みや、消費額等の経済効果を測る指標等の検討が求められる。
総合評価	■ 飛騨匠の技を継承する事業が核となり、日本遺産の枠組みの中で地域の伝統を守る取組が実施できている点が評価できる。 ■ 既存の観光地としての認知度がある中で、日本遺産をどのように活用していくかといった観点で事業に取り組む必要がある。 ■ 現状と課題を整理し、日本遺産を活用して地域がどのような将来像を目指していくのか、検討する必要がある。

評価結果	認定継続
------	------

27

総括評価

Ⅰ. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	■ 「観光客入込み数」及び「外国人観光客数」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」及び「淡路島日本遺産の認知度」について、目標を達成していない。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産への協力団体数」及び「日本遺産への協力団体数関連で開発された商品・サービス数」について、目標を達成している。
(4) その他	—	—
総合評価	不可	■ 全体として目標を達成しているとは言えない。

28

総括評価

Ⅱ. 取組内容に関する評価

		重点事項 評価結果	評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	可	■ 日本遺産サポータークラブの加入者数が一定程度おり、兵庫県内の他の日本遺産や民間事業者との連携など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(2) 戦略立案	個別評価		可	■ 地域内の日本遺産認知度が高いほか、行政計画への日本遺産の位置づけを行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(3) 人材育成	個別評価		可	■ 地域プロデューサー数が一定程度あるほか、講習会、交流研修やワークショップの開催を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(4) 整備	個別評価	可	不可	■ 観光客満足度が一定程度あるものの、来訪者の多様なニーズへの対応として、解説案内板設置とWEBサイトの更新のみでは不十分であり、受入環境整備の更なる強化が望まれる。
(5) 観光事業化	個別評価	可	可	■ ワークショップを通じた商品開発、体験コンテンツの提供やなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(6) 普及啓発	個別評価		可	■ 学習体験を行った生徒数が一定程度あるほか、兵庫県歴史博物館との共同研究や民間主導のイベント開催を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(7) 情報編集・発信	個別評価		不可	■ ウェブサイトのページビュー数が一定程度あるものの、SNSを活用した情報発信が停滞しているなど、多様なチャネルを活用した情報発信の強化が望まれる。
総合評価			可	■ 全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。

29

	最終評価理由（現地調査結果含む）
① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること	■ ビジョンについて、日本遺産のストーリーとの関係性を具体化することが望まれる。 ■ 日本遺産ストーリー関連の来訪者数が低い水準にあり、構成文化財の保存整備や、日本遺産ストーリー・構成文化財の活用戦略の強化等、具体的な改善策の検討が望まれる。 ■ 持続可能な地域活性化の実現に向けて、観光入込客数だけでなく、より多角的な指標の整備が望まれる。 ■ 通過型観光という課題を踏まえ、関西圏に近い地の利を活かしたインバウンド振興策を講じることが望まれる。 ■ RPGの課金収入は独自の取組といえるが、収支等に鑑み、収入源として適当か検討が望まれる。
② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること	■ 地域連携DMOが事務局を担い、金融機関がオブザーバーとして参加しているなど、多様なステークホルダーが参画し、一定の役割分担がなされている点が評価できる。 ■ 自治体の負担金に依存しており、独自財源や自立化の計画が不明確であり、自立・自走や好循環の実現に向けた体制整備が望まれる。 ■ 地域活性化に向けて観光消費額等の経済効果指標の設定が望まれる。
総合評価	■ 観光振興や普及啓発に力を入れること自体は評価できるものの、日本遺産ならではの特色を活かして観光振興策を具体的に検討することが望まれる。 ■ 日本遺産ストーリーや構成文化財をどのように活用するかといった戦略を立て、現地整備や事業化等、戦略の実現に向けた具体的な取組の検討が望まれる。
評価結果	認定継続

032 鯨とともに生きる

032

総括評価

Ⅰ. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	■ 「観光客入込み数」について、概ね目標を達成している。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、目標を達成していない。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「組織体制への行政組織以外の参画者数」について、目標を達成している。
(4) その他	—	—
総合評価	可	■ 全体として概ね目標を達成している。

総括評価

II. 取組内容に関する評価

		重点事項 評価結果	評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	可	■ 協議会に参画している民間団体数が一定程度あり、協議会の収益確保に向けた地域事業者との覚書締結を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(2) 戦略立案	個別評価		可	■ ブランド認知度が一定程度あり、行政計画への日本遺産の位置づけや計画に基づくPDCAの実施を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(3) 人材育成	個別評価		不可	■ 地域における観光ガイドが一定数確保されているものの、ガイド養成研修や公開セミナーなど人材育成活動の頻度を向上させることが望まれる。
(4) 整備	個別評価	可	可	■ 日本遺産に関連する施設や案内板の整備、ガイドブックの作成など、ストーリーを来訪者に伝えるための取組が進められており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	可	■ 構成文化財を周遊するガイドツアーの実施、日本遺産に関連した商品の販売、周遊につながる自動運転サービスの提供を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(6) 普及啓発	個別評価		可	■ 小中学校における学習体験、学校給食普及活動や地域住民向け日本遺産公開セミナーを行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(7) 情報編集・発信	個別評価		可	■ 公式ウェブサイト、SNSや新聞雑誌などの多様なチャネルで情報発信が行われているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
総合評価			可	■ 全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。

32

日本遺産を通じた地域活性化計画

	評価内容
① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること	■ 地域の特性を活かした明確なビジョンが描けている点が評価できる。 ■ ビジョンの達成や持続的な地域活性化に向けて、日本遺産ストーリーを活用した具体的な取組の検討や、経済的な指標の設定が望まれる。 ■ これまでの延長線上にある事業が多く、自立自走に向けた新たな事業検討や適切な予算確保が望まれる。
② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること	■ 観光事業者や交通事業者等の民間事業者との連携ができている点が評価できる。 ■ 組織の自立・自走に向けた、目標金額や消費額等の経済効果指標の設定や商品販売以外の具体的な取組内容を計画することが望まれる。 ■ 民間団体等への移管に関する計画の更なる具体化や、行政・観光関連団体・芸能保存会の関連性の明確化が求められる。
総合評価	■ 地域性やストーリーの特性を踏まえた取組内容が一定程度計画されている点が評価できる。 ■ 全体的に現状維持を目指すための取組内容となっており、ストーリーを活用した新たな産業創造や、民間事業者の能動的な参画の促進等、ビジョン達成に向けた取組内容と体制を強化することが望まれる。 ■ 伝統的な人の営みの歴史である捕鯨文化を適切に発信するため、学術的知見を持つ地域プロデューサーの育成や、具体的方策の検討が求められる。

評価結果	認定継続
------	------

33

総括評価

Ⅰ. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	■ 「観光客入込み数」及び「ガイドンス施設への来訪者数合計」について、概ね目標を達成している。 ■ 「宿泊者数」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、目標を達成している。 ■ 「小中学生における認知度」について、概ね目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「組織体制への行政組織以外の参画者数」、「日本遺産のためのふるさと納税額」及び「日本遺産関連で開発された商品・サービス数」について、目標を達成している。
(4) その他	不可	■ 「ウェブサイトのアクセス数」について、目標を達成していない。
総合評価	可	■ 全体として概ね目標を達成している。

34

総括評価

Ⅱ. 取組内容に関する評価

		重点事項 評価結果	評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	可	■ 行政内部での連携や参画する民間組織の増加に加え、ふるさと納税などによる資金獲得、地域プロデューサーの選任、教育機関との連携による取組もなされているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(2) 戦略立案	個別評価		可	■ 参画市町の行政計画・構想にて日本遺産の位置づけがなされており、事業計画や改善を行う会議体も定期的に実施されているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(3) 人材育成	個別評価		可	■ ガイドの育成事業が精力的に行われ、成果としてガイド数も一定程度確保されているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(4) 整備	個別評価	可	可	■ ガイドンス施設や重要文化財の案内・解説板の設置に加え、構成文化財の保全も行われているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	可	■ 周遊を促進する交通手段の整備や特別拝観やトレッキングツアーの実施等、日本遺産関連商品の開発・販売等の観光事業化につながる取組が実施されており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(6) 普及啓発	個別評価		可	■ 出前講座等による学習体験・歴史講座・研修会に加え、日本遺産の認知度が一定程度得られているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(7) 情報編集・発信	個別評価		可	■ SNSや日本遺産サイト、マップ・リーフレットの配布等の多様なチャネルを活用した情報発信を行っており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
総合評価			可	■ 全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。

35

	評価内容
① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること	■ 過去の活動の振り返り（課題分析）と現状を踏まえた上で、ビジョンや取組方針、具体的な取り組みが示され、目標も明確で実効性に期待が持てる計画となっている点が評価できる。 ■ 地域住民・来訪者それぞれの目線や持続可能性（自走性）に配慮したビジョンが設定されている点が評価できる。
② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること	■ 官民連携による協議会の役割分担が一定程度明確であり、地域プロデューサーを核に、シリアル型として実務的な推進体制となっている点が評価できる。 ■ 市町村ごとの部会について、それぞれ個別のものとならないよう、民間事業者の巻き込み等、市町村を超えたつながりを生み出す工夫が望まれる。 ■ 自立・自走に向け、経済効果を測るための消費額等の具体的な目標金額の設定や、様々な財源確保のための仕組みづくりが望まれる。
総合評価	■ 民間事業者と連携した体制となっており、地域全体で日本遺産に取り組んでいく姿勢や、現地の整備に資する取組の重点化など、整備も含めた具体的な計画立案が行えている点が評価できる。 ■ 「大山さんのおかげ」を誇りに思う地域住民が多いことを活かした地域活性化の方策や、大山の豊かな自然などを前面に出した観光事業化などについても検討していくことが望まれる。

評価結果	認定継続
------	------

034 出雲國たたら風土記 ～鉄づくり千年が生んだ物語～

034

総括評価

Ⅰ. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	■ 「日本遺産のストーリーについて理解・関心を深めた来訪者の割合」及び「ゲートウェイ施設3館の入場料等収入総額」について、目標を達成している。 ■ 「地域の宿泊者数」について、概ね目標を達成している。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	■ 「首都圏在住者が『たたら』に興味関心のある割合」及び「地域の行事に参加していると答えた児童の割合」について、目標を達成していない。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産関連事業の協力団体数」について、目標を達成している。
(4) その他	—	—
総合評価	可	■ 全体として概ね目標を達成している。

総括評価

Ⅱ. 取組内容に関する評価

		重点事項 評価結果	評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	可	■ 多くの民間組織も参画し、行政内外での連携が行われ、ふるさと納税等による資金獲得にも精力的に取り組まれており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(2) 戦略立案	個別評価		可	■ 行政計画や構想への日本遺産の位置づけがされており、事業計画や改善を行う会議体も頻度高く実施されていることから、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(3) 人材育成	個別評価		可	■ 構成市町村毎に地域人材による観光ガイド数を一定数確保しており、ガイドの会研修や観光協会研修などの人材育成に向けた取組もされているため、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(4) 整備	個別評価	可	可	■ 日本遺産の全体像を理解できるガイダンス施設を整備しているほか、各構成文化財に対する案内や解説板の設置や構成文化財の保全の取組も盛んに行われているため、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	可	■ 認定初年度に比べてインバウンド客や観光消費額が増加し、高付加価値化に向けた取組や多様なツアー造成等、日本遺産と連携した商品開発等の取組が活発に行われており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(6) 普及啓発	個別評価		可	■ 児童に向けたたら体験学習を実施したほか、立命館大学オンライン授業での講演や一般参加可能な古代たたら復元作業の開催など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(7) 情報編集・発信	個別評価		可	■ 日本遺産の情報発信ツールとして、HPやSNSを活用できしており、情報発信イベントへの積極的な参加を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
総合評価			可	■ 全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。

38

日本遺産を通じた地域活性化計画

	評価内容
① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること	■ 目指すべきビジョンが明確かつ具体的であり、現状と課題が細かく分析され、対策と取組が整理されている点が評価できる。 ■ たたらファン観光での地域振興というビジョンに基づく、ボランティアガイドの確保、情報発信や構成文化財の保存活用等の取組を行う点が評価できるが、圏域全体での活動やファン層の誘客に関する取組の強化が望まれる。 ■ プレイヤーの発掘やモデルコース造成などこれまでの取組の延長にあるものが多く、新たな取組を含む事業内容の更なる充実化が望まれる。
② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること	■ 体制について官民を含めて概ね整っており、協議会運営を民間主体のDMOに移行することを目指している点など、意欲的な体制検討が行われている点が評価できる。 ■ 財源確保に関する実現可能性が不透明であり、ふるさと納税・補助金以外の自己財源確保に向けた具体的な方策の検討が求められる。 ■ 自立・自走可能な推進体制づくりに向けて、アドバイザーの配置、専属スタッフの任用の予算化等、移行に向けた具体的な計画の立案が望まれる。
総合評価	■ 3年間の活動を通じて問題点・課題の整理を行い、地域の実情を踏まえた計画となっている点が評価できる。 ■ 一人当たりの消費額を増加させる方向性は評価できるが、そのための具体的なターゲット設定やターゲットに応じた宿泊施設などインフラ整備計画の更なる具体化が求められる。 ■ 事業計画の内容がどの程度実現できるかが未知数であり、ビジョンの実現に向けた取組の具体化が必要である。 ■ 好循環の実現に向けて、経済効果指標の設定、有償ガイドの育成、文化財を活用した宿泊施設の整備、高付加価値な体験コンテンツの造成など、経済価値創出を意識した取組の実施が望まれる。

評価結果	認定継続
------	------

39

総括評価

Ⅰ. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	■ 「観光客入込み数」、「肥前窯業園の訪日外国人観光客数」及び「九州陶磁文化館の入場者数」について、目標を達成している。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	■ 「地域の歴史文化に誇りや愛着を感じる住民の割合」について、目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産への協力団体・企業数」及び「日本遺産のためのふるさと納税額」について、目標を達成している。
(4) その他	可	■ 「経済効果」について、目標を達成している。
総合評価	可	■ 全体として、目標を達成している。

40

総括評価

Ⅱ. 取組内容に関する評価

		重点事項 評価結果	評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	可	■ 民間組織も参画して行政内外での連携が一定程度図られており、日本遺産の整備等に活用するための収益事業等を通じた資金獲得にも取り組まれているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(2) 戦略立案	個別評価		不可	■ 協議会独自のブランドの認知度は高くなく、各市町の行政計画・構想への日本遺産の位置づけについても不十分であり、戦略立案に関する取組のさらなる強化が望まれる。
(3) 人材育成	個別評価		可	■ 構成市町村毎に地域人材による観光ガイド数を一定数確保する他、協議会や構成市町主催にて人材育成に向けたセミナー等にも取り組むなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(4) 整備	個別評価	可	可	■ 日本遺産の全体を理解できるガイダンス施設を整備する他、日本遺産案内看板の各市町への設置を行うなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(5) 観光事業化	個別評価	可	不可	■ 日本遺産関連商品の制作・販売は一定程度実施されているものの、日本遺産事業全体の集客効果・経済効果を高めるための取組を検討することが望まれる。
(6) 普及啓発	個別評価		可	■ 出前講座等の学習体験の実施やイベント出展を通じたプロモーションを行い、学習体験者等における日本遺産への理解度を高めるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(7) 情報編集・発信	個別評価		可	■ 日本遺産の情報発信ツールとして、HPでの多言語対応やInstagramを活用する他、日本遺産に関する情報発信イベントへの参画・開催を定期的に取り組むなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
総合評価			可	■ 全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。

41

	評価内容
① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること	■ これまでの取組と課題を踏まえたビジョンや事業の方向性が描けている点が評価できる。 ■ 取組について内容の具体性を高めることに加え、既存の取組の延長だけではなく、課題を踏まえた新たな取組も検討することが望まれる。 ■ 持続的な地域活性化のための経済的な指標として、協議会による自主事業収益指標以外の指標追加も検討することが望まれる。
② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること	■ 焼物の事業者組合はじめ、多様な主体が参画している点が評価できる。 ■ 日本遺産事業への民間企業の関わり方や果たすべき役割を明確化し、自立自走や持続性の確保、好循環創出に向けた目標や取組を具体化・充実させることが望まれる。 ■ 窯業というテーマの下、個別地域毎の取組はもとより、2県8市町に跨る広域シリアルを牽引する地域コーディネーターを確保し、地域横断での連携を強化・促進することが望まれる。
総合評価	■ 窯業を支える民間事業者や組織の自主的活動と、産業としての収益増を図る試みの検討や、焼き物という魅力ある資源を活かした周遊・体験コンテンツの造成等による経済効果の創出について、具体的な計画・取組を検討することが望まれる。 ■ 圏域内の多様な焼き物文化、それに関連する幅広い要素や担い手を活かすようなビジョン、取組、体制を構築することが望まれる。
評価結果	認定継続